



たかはし浩司 町政活動報告

第12号

令和6年8月

発行者/たかはし浩司後援会 〒515-0317 多気郡明和町大字池村1011番地
TEL0596-52-7707 FAX0596-52-6930 <https://www.kouzi-takahashi.com> takahashi@cks-fss.jp

たかはし浩司
ホームページ



Facebook



Instagram



後援会
ご入会申込



まだまだ暑さの厳しい日々が続きますが、熱中症にご注意いただき、どうぞお体を大切にお過ごしください。

さて、今年の2月に世古口哲哉前町長が急逝されました。彼の遺志を引き継ぎ、まちづくりを進めていくと掲げ、下村由美子氏が新町長として就任しました。4月には機構改革が行われ、新たに防災安全課と福祉総合支援課が設置されました。また、高木謙治氏が副町長に就任し、新しい体制がスタートしました。

高橋浩司も、より良いまちづくりのため、より一層の努力を重ねてまいりますので、皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。

今回は、令和6年3月および6月の町議会定例会、ならびにその間の行政の動きなど、町政活動についてお伝えします。

たかはし浩司後援会長
渡邊 裕

- 3月議会定例会では補正予算等の議案など45件を可決し、また予算特別委員会では、令和6年度の骨格予算が承認されました。
- 6月議会定例会では今年度の一般会計や特別会計の補正予算、副町長の選任同意とその他の議案など16件を可決しました。

6月の定例会では、前町長の想いと施策を引き継いだ下村新町長の「まちづくり」について、また役場職員の人材獲得とデジタル人材の育成といった「ひとづくり」について、一般質問を行いました。

①下村町長が掲げる公約の中で「強化と推進を加速する」ものと、前町長の施策の中で「方針転換や見直しを行う」ものは何かを尋ねました。

答「つながり」「育み」「安心」「創造」という4つの柱と30の具体的な施策を、限られた財源と人材不足等を考慮し、優先順位を付け取捨選択して進める。庁舎の建設については有利な財源を確保し、同時にDX推進等による手続きの省力化・簡略化に取り組む。また道の駅構想は商業地域の活性化のため、民間開発の可能性を探る。



②税収や雇用を確保するための「企業誘致」と、町内のインフラ事業者支援の一環である「町発注工事の平準化」(※1)の促進について質問を行いました。 ※1 平準化とは、年度末に集中しがちな工事を年間を通じて均等に行うことです。

答重要な政策の一つとして「企業誘致」に引き続き取り組む。また平準化については、今年度は昨年度より1か月前倒して工事発注したが、町内企業支援のためにも取り組みをより一層進める。



③安全・安心な「水」の供給のための上水道管の耐震化・更新計画の推進を求めました。

答上水道管の耐震化がまだ十分に進んでいない状況であり、老朽管更新と合わせて計画的に進めたい。また、これらの事業を推進するにあたっては料金に影響があるため、適正な料金の見直しを検討する。

④今後の農業振興と農地保全のため、農業用水のパイプラインの支線整備の促進を求めました。

答支線整備事業では地権者の同意が必要であるため、事業計画を策定し、受益者に細やかな説明を行いながら、関係機関と連携し取り組みを進めたい。

⑤住民サービス向上のため職場環境の改善による「職員のモチベーション向上」と「選ばれる職場づくり」に取り組むよう要望しました。

答「職場環境の改善」は重要な課題の一つであると認識し、一つ一つできることを進め、離職の防止や、選ばれる職場づくりにつなげていきたい。



R6.1.1(月)
初日の出を迎える会



R6.1.14(日)
明和町消防団出初式



R6.2.3(土)
多気郡3町合同 現地要望



R6.3.6(水)
明和北小学校 起工式



めいわトピックス



令和6年1月から6月までの議会と行政の主な動きや行事を取り上げました

●● 予算特別委員会では・・・ ●●

3月に開催された予算特別委員会では、町の事業などの取り組みについて質問や要望を行いました。

① こども園や小中学校の給食は、園児・児童・生徒の健全な発育だけでなく、「食育」としての役割があり、安全・安心な給食提供のため食材納入業者の公平公正な選定基準やコンプライアンス徹底を求めました。

答 チェック体制も含めて確認し、今後の選定方法の検討を進める。

② 明和町は脱炭素社会を目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を表明していますが、公用車のEV化や公共施設での再生可能エネルギー導入が進んでいないため、積極的な取り組みを要望しました。

答 EV車や公共施設へ再生可能エネルギーの導入を積極的に推進していく。

●● 豊かな海づくりについて ●●

令和4年度に行われた「海の肥料の設置」が功を奏したのか、ハマグリ漁の漁獲量が増加しました。今年度は漁業関係者により6月に「海底耕耘」が行われ、今後も豊かな海づくりに向け、町と漁師さんと漁協などが連携し取り組みが進むことを期待しています。



(6月の状況)



(7月の状況)

●● 明和北小学校建設工事について ●●

明和北小学校の建設工事は、令和8年4月開校に向け整備がすすまられています。

(←写真は明和町のホームページから)

●● 竹神社前交差点改良と歴まち事業について ●●

竹神社前の交差点改良が5月に完成し、今年度の歴まち事業でこの交差点沿いにポケットパークを整備する予定です。また、中町の園路や史跡内の案内サイン整備も計画されています。(写真は三重県のホームページから→)



●● 各委員会・全員協議会では・・・ ●●

○明和町と多気町のデマンド交通「チョイソコめいひめ」と「でん多」の広域連携が10月頃に開始予定です。

○水害の軽減を目的とした新たな田んぼダムの検証や、道路冠水センサーの設置が予定されています。

○産学官が連携する伊勢麻振興プロジェクトが国の交付金の採択を受け、3箇年計画で進められます。

○飼い主のいない猫等の避妊等の手術費補助金制度が始まりました。

○熱中症特別警戒情報が発表された際の避難所(クーリングシェルター)に公共施設やイオン明和が指定されました。



R6.3.10(日)

こどもわいわいフェスティバル



R6.5.5(日)

鎮守の森楽社(竹神社)



R6.5.23(木)

第65回 明和町商工会総会



R6.6.1(土)

第41回 斎王まつり

哀 悼

《2月7日ご逝去 世古口哲哉前町長へ》

哲哉、お前は本当に唯一無二の存在でした。中学の同じ野球部からの付き合いで、役場に入庁してからも共に過ごした日々は、心に深く刻まれています。お前と過ごしたすべての時間が、今も俺の一部です。職員には厳しく接することも多かったけど、明和町をより良くしたいというお前の熱い想いは職員たちの心の中で生き続けます。どうか安らかに、そしてこれからもみんなを見守ってください。お前の魂が永遠に平和でありますように。

《2月21日永眠 横田裕明(義兄)へ》

町政や政治活動に直接関わりはありませんが、哲哉の事故から2週間後に51歳の義兄を病気で失いました。兄やんは何ものにも代えがたい存在で、心が引き裂かれるような悲しみに、現実が歪んで見えるような感覚です。3年間の過酷な闘病生活の中でも、周囲に笑顔を絶やさず、常に気を遣っている姿を忘れることはありません。深い感謝の気持ちを込めて、兄やん、本当にありがとう。兄やんの優しさと思いやりを胸に、どうか安らかに眠りください。

《6月27日ご逝去 中井幸充元町長へ》

幸充さん、私が平成元年に入庁して以来、いつも私を気にかけてくださり、食事や飲み会に誘っていただきました。泊まりでの忘年会など、仕事から遊びまで様々なことを教えていただき、楽しい時間をたくさん共有しました。他にはない、まるで年の離れた兄のような存在でした。心からご冥福をお祈りいたします。どうか安らかに眠りください。

高橋 浩司